

## 図書館員のひみつの本棚 第142回

今月は、「手話」の本のご紹介です。

### 『てではなそう① てではなそう「すき」と「なりたい」』

さとう けいこ/さく さわだ としき/え 柏書房 2003年 1296円

#### <お勧め年齢>

乳幼児-- 低学年☆☆ 中学年☆☆ 高学年☆☆ 中学生☆  
高校-- 一般--

(☆が多い年齢の子どもにお勧めです。)

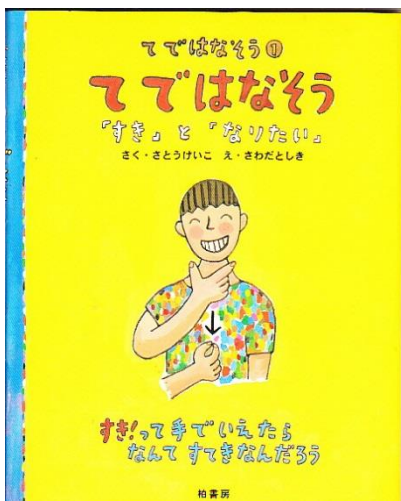
#### <本の紹介>

この本では、手話で「すき」と「なりたい」という気持ちを伝えるやり方を、シンプルなイラストで教えてくれます。「おかあさんが すき」「らいおんに なりたい」。「すき」も「なりたい」もじつはとても簡単な動きで伝えることができます。ぜひ、この本のページを開いて、イラストを見ながら実際にやってみてください。きっと楽しくなってきます。

「手話」は耳の不自由な人とも話せるし、道路の向こう側の人とも話せる、とってもユニークで楽しいコミュニケーションです。難しく考えずに、さあ、「てではなそう」!

#### <子どもに手渡す時のポイント>

「手話」というと、「福祉」という観点から捉えられがちですが、この本は「手話」を、耳の不自由な人たちの特別なものではなく、気軽に楽しめるコミュニケーションの一つとして私たちに伝えてくれます。知識としての「手話」ではなく、人と人がつながるための「手話」の本です。ぜひ、読むだけでなく、子どもたちと実際にやって楽しんでください。シリーズは5巻まで出版されています。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。